

やぶなべ

青森県立青森高等学校生物部 発行

誌名	やぶなべ
号/発行年/頁	15 / 1969 / 3-6
タイトル	鳶沼周辺の地表面植物相
著者名	佐々木憲夫

自然を見つめる やぶなべ会 (青森)

鳶沼周辺の地表面植物相

2年 佐々木 憲 夫

〔まえがき〕

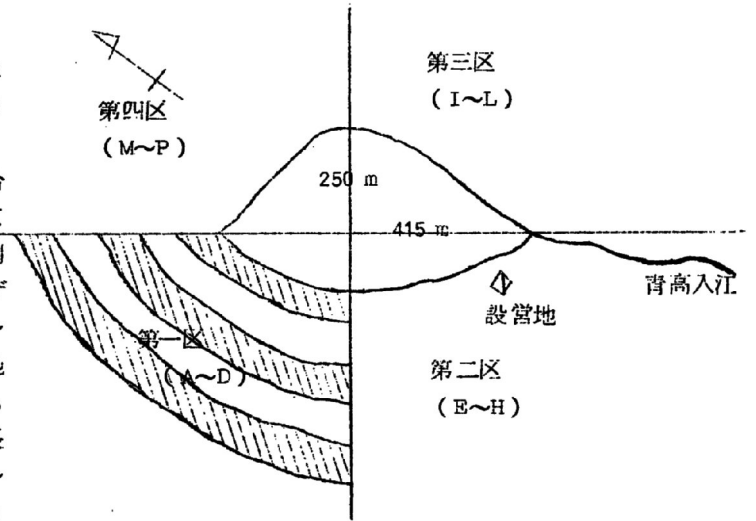
本調査は1969年八月三日より八月七日までの五日間我が部が十和田国立公園鳥付近生物調査を行なった際に調べたものであるが、整理の進行状況からここには木本のみを掲げることにした。

〔調査地域〕

鳶沼は十和田国立公園中、国民温泉酸ヶ湯と十和田湖のほぼ中程に有り、原始林がうっそうと生い繁り、夏でも冷涼なる気候の地である。調査地はこの辺一帯に数ある沼のうち最もよく知られている鳶沼のほりにした。

〔調査方法〕

普通植物相の調査と言いますと方形区が多くの場合使われておりますが、今回のように、少人数、短時間で広い地域を調査する場合方形区型でやっているのではとてもやれないので、今年も八年前同様のライン方式で行なった。まず沼の周辺で出来るだけ等分にA~Pまで16等分に分割して、各地点に於いて沼に直角に糸4本でもって、巾20cm、長さ50mの長方形区型を作り、図1のように0~10mを α 、20~30を β 、40



~50を γ と3段階に分けました、巾20cm、長さ10mの長方形区型の各々に於いて、その内に入った植物の占める面積を調べました。

〔調査線上植物の種類〕

鳶沼周辺の調査線上の植物の種類は、木科、科、種類である。くわしくは下記の通りであるがこの科、種類と言うのは、あくまでも調査線上のものだけであって、鳶沼周辺には、まだ相当数の植物があると思います。

目 録

1. ACERACEAE かえで科

① ACER TSCHONOSKII MAXIM

みねかえで

② ACER SHIRASAWANUM KOIOZ

おまいたやめいけつ

- ③ ACER MICRANTHUM SIEB ET ZUCC
こみねかえで
- ④ ACER PICTUM THUNB
つたもみじ (一名 ときわかえで)
- ⑤ ACER PALMATUM THUNB VAR MATSUMURAE MAKINO
やまもみじ
- ⑥ ACER JAPONICUM THUNB
はうちはかえで
- II CAPRIFOLIACEAE すいかづら科
- ⑦ VIBURNUM FURCATUM BLUME
むしかり (一名 おおかめのき)
- ⑧ WEIGELA HORTENSTIS C. A MER
FORMA SPONTANEA MAKINO
たにうつぎ
- ⑨ LINNAEA BOREALIS L
りんねそう
- ⑩ VIBURNUM WRIGHTII MIQ
III SAXIFRAGACEAE ゆきのした科
- ⑪ HYDRANGEA PANICULATA SIEB
のりうつぎ (一名 のりのき)
- ⑫ SCHIZOPHRAGMA HYDRANGEOIDES
いわがらみ
- ⑬ HYDRANGEA MACROPHYLLA SERINGE
SUBSP. SERRATA MAK. VAR. MEGACARPA OHWI
えぞあじさい
- IV FVICACEAE つつじ科
- ⑭ RHODODENDRON MOLLE G. DON VAR. JAPONICUM
MAKINO
けんげつつじ
- ⑮ RHODODENDRON ALBVECHTII MAXIM
むらさきやしほつつじ
- ⑯ RHODODENDRON METTERNICHII SIEB. ET. ZUSS
しやくなげ
- ⑰ RHODODENDRON OBTUSUM PLANCH
VAR. KAEMPFERI WILS
- V ROSACEAE いばら科
- ⑱ RRUNUS GRAYANA MAXHN
うわみづざくら (一名 こんがらざくら)
- VI FAGACEAE ふな科
- ⑲ FAGUS CRENATA BLUME

ぶな

⑳ QUERCUS CRIPULA BLUME

みづなら (一名 おおなら)

㉑ QUERCUS DENTATA THUNB

かしわ

㉒ QUERCUS SERRATA THUNB

ははそ

VII BETULACEAE かはのき科

㉓ BETULA ERMANI CHAM VAR COMMUNIS KOIDZ

だけかんば

VIII MAGNOLIACEAE もくれん科

㉔ MAGNOLIA OBOVATA VHUNB

ほおのき

IX HIPPOCASTANACEAE とちのき科

㉕ AESCULUS TURBINATA BLUME

とちのき

X LAURACEAE くすのき科

㉖ BENZOIN UMBELLATUM PEHP

くろもじ

XI ULMACEAE にれ科

㉗ ULMUS LACINIATA MAYR

おひょう (一名 やじな, ればりじな)

㉘ APHANANTHE ASPERA PLANCH

むくのき

XII JUGLANDACEAE くるみ科

㉙ PTEROCARYA VHOIFOLIA SIEB. ET. ZUCE

さわぐるみ (一名 かわぐるみ, ふちぐるみ)

㉚ JAGLANS MANDSHRICA MAXIN

VAR. SIEBOLDIANA MAKINO

おにぐるみ (一名 くるみ, をぐるみ, おのこるみ)

XIII ARALIACEAE うこぎ科

㉛ ARALIA ELATA SEEM

たらのき

㉜ ACANTHOPANAX SCIADOPHYLLOIDES

FRANCH. ET. SAR

こしあぶら (一名 ごんぜつのき)

㉝ ACANTHOPANAX SIEBOLDIANUM MAKINO

うこぎ

XIV CORNACEAE みずき科

㉞ CORNUS CONTRORERSA HEMSL

- みずき (一名 くるまみずき)
- XV OLEACEAE ひひらぎ科
- ③⑤ FRAXINUS SIEBOLZIANA BLUME
とねりこ (一名 あをたご, こばめとねりこ, あをだも)
- XVI OLEACEAE ひひらぎ科
- ③⑥ FRAXINUS MANDSHURICA RUPR
やちだも
- XVII AQUIFOLIACEAE もちのき科
- ③⑦ ILEX CRENATA THUNB
いねつけ
- XVIII ANACARDIACEAE はぜのき科
- ③⑧ RHVS ORIENTALIS SCHNEID
つたうるし

葛沼周辺は、ブナ林であるけど、カエデ科、イワガラミ、エゾアジサイ、クロモジ、ツタウルシ等多くみられた。カエデ科をあげたのは、ヤマモミジ、コミネカエデ、ハウチワカエデ等一つ一つを取り上げた場合には、たいした面積を占さなかったが、全体としてある程度の面積をしめたので、あえてあげた。又、エゾアジサイについては、ヤマアジサイとの区別ができなかったので、分布地域から見、色の違いを無視して決断した。今回は、調査地がブナ帯であったので、東北地方で発見され、まだ青森だけで見つかっていないツタウルシをぜひとも発見しようがんばったが、とうとう最後まで見つめることができなかった。最後にこの調査書が不完全なものであることをすまなく思う。お許し願いたい。

